４．令和８年度　学校経営方針

基 本 理 念 → **多様なコースの設置と体験重視及びアグリビジネス教育の充実により新しい時代を創造する人間を育成する**

校　訓

自　律
創　造
共　生

目指す学校像

県北地区の核として、２１世紀の県北に活力を与える学校
(1) 一人ひとりの可能性を引き出し、個性を伸ばすことができる学校
(2) 多様な学習活動を通して、一人ひとりの進路希望が実現できる学校
(3) 地域社会及び国内外の発展に貢献しようとする人材を育成する学校
(4) 自然環境を大切にし、自然との共生を目指す教育活動をすすめる学校

目指す生徒像

少子高齢化の進むこの地域を支える人材の育成が求められている
(1) 自主自立の精神のもとに、主体的に行動し何事にも挑み続ける生徒
(2) 幅広い知識・教養を身に付け、自己の進路希望を実現できる生徒
(3) 探究心を持ち、持続可能な地域社会の実現に向け積極的に行動し、郷土の発展に貢献できる生徒
(4) 自然環境や農業に関心を持ち、環境活動のできる生徒

本年度の重点目標（北鷹プロジェクト）

基本理念、目指す学校像・目指す生徒像の実現を図るため、全職員が重点的に取り組むべき戦略

（戦略）
1　自主自律の精神のもと、主体的に粘り強く課題に取り組む力を育成する

（戦術）
Ⅰ　主体的実践プロジェクト

主体的・協働的な活動を通して、生徒の自主性、実践力、コミュニケーション能力、社会性等を育成する。

(1) 個々の目標に応じた指導体制の充実
(2) 行事や部活動等を通じた粘り強さ･協調性の育成
(3) 校内外の連携による継続的な支援体制の整備
（部活動複数顧問･外部指導者･地域連携等）

① 生徒との日常的な面談やコミュニケーションを通して生徒理解を深め、個に応じた指導を実践する。
② 学校行事や部活動において、生徒による主体的な企画・運営を支援し、協働的な活動を通して自己有用感を育成する。
③ 複数顧問や外部指導者、地域人材との連携を通して協働する場面を設定し、主体的に行動する態度を育成する。
④ 部活動や授業、探究活動等の体験的な学びを通して、粘り強く課題に向き合う姿勢を育成する。

（戦略）
2　確かな学力を身に付け、自らの進路を選択し実現する力を育成する

（戦術）
Ⅱ　キャリア形成プロジェクト

授業改善や進路指導、探究活動等を通して、生徒の学力、課題解決力、進路実現力を育成する。

(1) 基礎学力と思考力を育成する授業改善
(2) コースの特色を生かした専門的な学びの深化
(3) 情報リテラシーと課題解決力の育成
(4) 多様な進路に対応したカリキュラム･個別指導の充実

① ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善により、生徒の基礎学力と思考力を育成する。
② コースの特色を生かした学習活動や体験的な学びを通して、専門的な知識・技能の深化を図る。
③ 地域と連携した活動や探究活動を通して、ＩＣＴを効果的に活用しながら課題解決力を育成する。
④ 進学・就職に応じた補習や個別面接指導を充実させ、多様な進路希望の実現を支援する。

（戦略）
3　地域に根ざし、広い視野で社会に積極的に貢献する力を育成する

（戦術）
Ⅲ　地域貢献プロジェクト

ボランティア活動や地域連携活動を通して、地域社会に主体的に貢献する態度を育成する。

(1) ボランティア活動への主体的参加の促進
(2) 地域行事への参画を通じた実践的学びの充実
(3) 地域課題の解決に向けた企画立案と実践
(4) 探究活動と連動した地域貢献の推進

① ボランティア活動への主体的な参加を通して、奉仕の精神と社会性を養う。
② 地域行事への参画を通して、地域理解を深めるとともに、実践的に行動する力を高める。
③ 地域課題の解決に向けた企画立案や実践活動を通して、課題解決力と主体性を培う。
④ 探究活動と連動した地域貢献活動を通して、地域社会に主体的に関わる態度を育成する。

（戦略）
4　自然や農業との共生を踏まえ、地域に新たな価値を創造する力を育成する

（戦術）
Ⅳ　アグリ共創プロジェクト

農業科と普通科の特色を生かした学びを通して、環境保全に主体的に取り組む態度と課題解決力を育成する。

(1) 普通科と農業科の連携による学科横断的な学習の推進
(2) 地域と連携した環境保全･農業体験活動の展開
(3) 自然への敬愛と持続可能な社会の実現を目指す探究活動

① 学科間の連携により、地域の自然環境や自然との共生について理解を深める学習を推進する。
② 環境保全や農業の役割、地域資源の活用について学び、持続可能な地域社会の実現に向けて主体的に行動する力を育成する。
③ 自然環境や農業との共生を重視しながら、新たな価値の創造やビジネス的発想を取り入れた課題学習や探究学習を推進する。